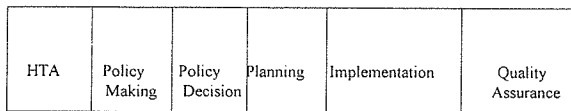


The pure approach

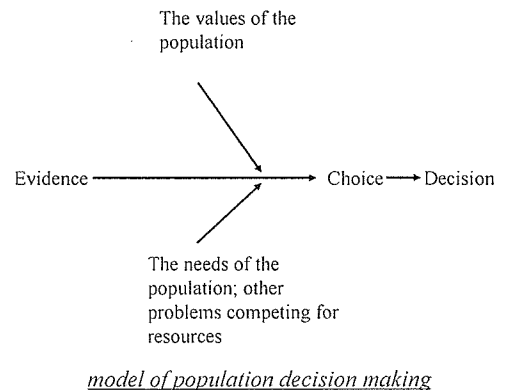
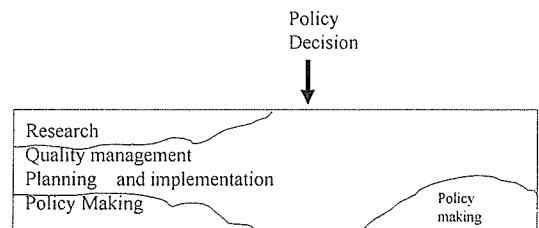


A mess is a situation for which there is

1. No ideal solution and
2. Every solution creates further problems

The mess we found

1. Unknowing variations in policy, including no policy
2. Unknowing variations in practice
3. Absence of standards
4. No performance measurement
5. Patchy training
6. Dreadful information for women
7. No clear lines of accountability



All screening debates are debates between snails and evangelists

Sackett D L & Holland W W

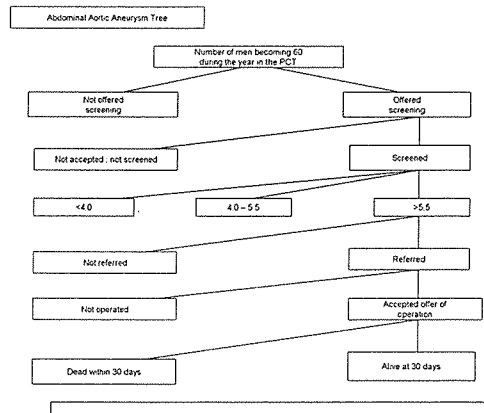
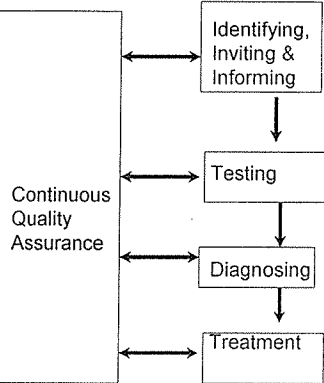
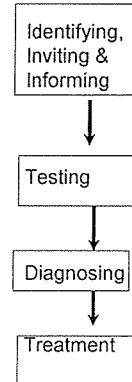
What have we done

1. Reviewed what was happening
2. Reviewed the literature
3. Made policy recommendations
4. Set standards
5. Agreed performance measures
6. provided training
7. Procured equipment
8. Clarified management

	1995 Before NSC	2005 After NSC
No policy	90	0
Policy not to screen	1	68
National policy but neither national standards nor reporting	2	17
National policy with National standards and reporting	2	22

A screening programme is an a coordinated set of services for a defined population.

Each screening programme must have someone responsible for coordination, usually one of the managers of the set of services that make up the programme



Eternal verities

The individual who is offered the opportunity to reduce their risks through screening

Eternal verities

- Error prevention
- Error management
- Performance improvement
- Standard setting and resetting
- Clarifying responsibility

The Diabetes, Stroke, Kidney Heart and Vascular Disease Control Programme

The aim of the programme is
to control these epidemics by

primary prevention
+ early detection and risk
management
+ high quality treatment

The Vascular Risk Management Programme

Risk assessment +
action to reduce risk
= risk management

Risk management is central to
an effective programme and
the assessment of risk will
also identify people with
asymptomatic Type 2
Diabetes

Principles of policymaking

Simplify, simplify, simplify
Minimise demands on medical, nursing and citizen time
Everyone is at risk and needs information therapy, some also
need pharmacological therapy
Minimise inequalities
Ensure good quality in all 10,000 surgeries
Focus on people at risk not single risk factors
Don't get into a mess; take time to get it right first time

What will screening for diabetes be like ?

What ages? 30 40?
What part if any should BMI, ethnic background or
family history play, if any?
How often? 5 or 10 year intervals?
What screening test?
What diagnostic test?

Population Policy

Men and women
40, 50 60

VARIANTS

1. 5 year interval
2. Start 30
3. 4 or 5 invitations
4. Family history

(Familial Hypercholesterolaemia identified by cascade
programme)

5. Ethnic question

Important issues

Coverage or interval
Coverage or intensity of testing
Population or high risk

Risk assessment policy

Smoking
Lipids
Blood pressure
Glucose (whole blood; threshold >6.0)
VARIANTS
1. BMI
2. BMI OR WAIST

The core programme

40,50,60
Men and women
Glucose
Blood pressure
Lipids

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表 平成16年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中山健夫, 緒方裕光	疫学のはなし 放射線医学との接点 部位別のがん 皮膚がん 紫外線と皮膚が	放射線科学	47(12)	390-397	2004.12
緒方裕光	科学的根拠とリスク評価	公衆衛生	68(7)	540-543	2004.7
野添篤毅, 阿部信一, 磯野威, 裏田和夫, 山口直比古	メタ・アナリシスにおける文献検索	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	14	2004.6
武藤桃子, 阿部信一	看護師の情報ニーズと情報探索行動 慈恵医大医学部看護学科平成12年度卒業生を対象にしたアンケート調査	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	49	2004.6
阿部信一	MEDLINE研究の変遷	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	45	2004.6
小宮美雪, 阿部信一, 山下ユミ	大学勤務医の情報ニーズと情報習慣	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	18	2004.6
山田知子, 阿部信一	緊急医療情報のEBM情報源への収載状況	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	13	2004.6
阿部信一, 山田知子	緊急医療情報のEBM情報源への収録状況	医療情報学連合大会論文集	24回	1216-1217	2004.11
阿部信一, 山田知子	白内障診療ガイドラインの引用文献の分析	医療情報学	24(1)	211-214	2004.04
阿部信一	誰にでも使える文献検索術 知っておきたいMeSHでの検索法	EBMジャーナル	5(3)	348-353	2004.04
山下ユミ, 小宮美雪, 阿部信一	大学附属病院長の情報ニーズと情報習慣	医学図書館	52(1)	59-65	2005.3
山田知子, 阿部信一	EBM情報源における緊急医療情報への対応	薬学図書館	49(4)	240-245	2004.10
阿部信一	データベース MEDLINEの検索方法の分析研究:海外文献のレビュー	医学図書館	51(3)	221-229	2004.9
阿部信一, 山田知子	白内障診療ガイドライン作成のための文献検索	医学図書館	51(2)	125-131	2004.6
酒井由紀子	北米における消費者健康情報(Consumer Health Information)の歴史と現状	(図書) 奈良岡功, 山室真知子, 酒井由紀子. 健康・医学情報を市民へ. 東京: 日本医学図書館協会; 2004(JMLA叢書		67-130	2004
酒井由紀子	情報リテラシー・サービス 慶応義塾大学 信濃町メディアセンターにおける情報リテラシー教育事例	医学図書館	52(1)	42-48	2005.3
杉江典子	図書館先進地域の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの特性-滋賀県と東京都多摩地域の比較をもとに-	日本図書館情報学会誌	51(1)	25-48	2005.3
諏訪部直子	情報リテラシー・サービス 臨床医学論文執筆に必要な情報リテラシー	医学図書館	52(1)	53-58	2005.3
諏訪部直子	「EBM」を書名に含む国内臨床医学書の分析と評価	医学図書館	51(4)	363-367	2004.12
諏訪部直子	EBMを冠した国内臨床医学図書の分析	医学情報サービス研究大会抄録集	21回	15	2004.6
脊山洋右, 開原成允, 野添篤毅, 小野木雄三, 篠原恒樹, 鈴木博道	UMLSと連携した日本語医学用語ソーラスの開発実験	医療情報学24回連合大会論文集	24回	1202-1203	2004.11
細谷工, 松島雅人	総合診療部における頭痛の現状	東京慈恵会医科大学雑誌	119(6)	380	2004.11
浦島充佳, 松島雅人, 栗原敏	臨床研究開発室:開設2-3年目の活動状況報告	東京慈恵会医科大学雑誌	119(6)	377	2004.11
松島雅人	臨床研究デザイン-観察研究・ケースコントロール研究のすすめ-	薬理と治療	32(9)	607-610	2004.9

研究成果の刊行に関する一覧表 平成17年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
緒方裕光	放射線診療を受ける患者さんの放射線リスクアセスメント(教育講演)	第16回医療放射線防護連絡協議会年次大会. 2005/12/9,			2005
緒方裕光	放射線防護に関する生物学・疫学分野の研究	保健物理	40(4)	331-340	2005.12
Shinichi ABE	Information needs and behaviors of directors of university hospitals in Japan(Poster Presentation)	Medical Library Association Annual Meeting 2005. May 14th-19th 2005, San Antonio, USA			2005
阿部信一, 松島雅人.	臨床現場における情報ニーズ/入手方法および適用に関する研究.	第22回医学情報サービス研究大会, 2005/07/9-10, 愛知.			2005
宮下牧子, 阿部信一.	和雑誌特集記事のエビデンス.	第12回医学図書館研究会, 2005/11/14-16, 東京.			2005
酒井由紀子.	北米の図書館による一般への健康情報サービス.	研修「みぢかな健康情報サービス」, 2005年9月26日, 東京都立中央図書館.			2005
酒井由紀子.	北米の公共図書館における医療・健康情報の歴史と現状.	現代の図書館	43	224-238	2005
酒井由紀子.	動向レビュー: 米国国立医学図書館と図書館情報学国家委員会による健康情報サービス支援事業.	カレントアウェアネス	287	13-16	2005
杉江典子	図書館における医療・健康情報の提供わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査	現代の図書館	43(4)	183-192	2005.12
杉江典子	図書館先進地域の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの特性-滋賀県と東京都多摩地域の比較をもとに-	日本図書館情報学会誌	51(1)	25-48	2005.3
諏訪部直子	サブジェクトライブラリアンは必要か 医学情報専門家としての医学図書館員の新しい役割	情報の科学と技術	55(9)	369-374	2005.9
山口直比古	図書館における医療・健康情報の提供EBMと図書館員	現代の図書館	43(4)	193-198	2005.12
名郷直樹	患者の論理・医者論理 23 医療は本当に人の役に立っているのか	JIM	15(3)	246-249	2005.3
磯野威, 阿部信一	図書館における医療・健康情報の提供国立ライフサイエンス情報センター(仮称)の可能性 公共図書館と医学図書館のネットワーク	現代の図書館	43(4)	193-198	2005.12
松島雅人	EBMがもたらしたもの,めざすものEBMを実践できる医師を育てる環境は進んだか 医学部教育(私立大学)	EBMジャーナル	7(1)	188-192	2005.12

研究成果の刊行に関する一覧表 平成18年度

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
緒方裕光 馬替純二	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 環境要因の健康リスク評価におけるメタ・アナリシスの応用に関する研究-線量反応関係,しきい値の有無,線量率の影響等に関する検討-	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 平成17年度 総括・分担研究報告書		99-101	2006
緒方裕光 馬替純二	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 環境要因の健康リスク評価におけるメタ・アナリシスの応用に関する研究-メタ回帰モデルの生物学的リスク評価への応用-	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 平成16年度 総括・分担研究報告書		59-63	2005
杉江典子	公共図書館のレファレンスサービス 図書館員と研究者の共同研究から ニューヨーク市クイーンズ区公共図書館における図書館サービス-情報サービスを中心に	現代の図書館	Vol.44, No.1,	11-25	2006.03
杉江典子	図書館における医療・健康情報の提供 わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査	現代の図書館	Vol.43, No.4,	183-192	2005.12
杉江典子	図書館先進地域の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの特性-滋賀県と東京都多摩地域の比較をもとに-	日本図書館情報学会誌	Vol.51, No.1,	25-48	2005.03
野添篤毅	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 ウェブサイト上の健康情報の評価	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 平成17年度 総括・分担研究報告書		13-29	2006
野添篤毅	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 メタアナリシス文献の主題傾向分析	エビデンスを適切に統合するメタ・アナリシスの理論,応用と普及に関する調査研究 平成16年度 総括・分担研究報告書		9-17	2005
野添篤毅 阿部信一	健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究 健康危機管理情報データベース構築のためのデータ要素と情報の網羅的収集	健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究 平成16年度 総括・分担研究報告書		7-17	2005
山口直比古	図書館における医療・健康情報の提供 EBMと図書館員	現代の図書館	Vol.43, No.4,	193-198	2005.12
山口直比古	図書館アイデンティティ 東邦大学メディアセンターにおけるアイデンティティ創り	情報の科学と技術	Vol.56, No.2,	58-61	2006.02
坪内政義	東海目録Web版(TOMcat)の運営について	病院図書館	Vol.25, No.4,	160-164	2006.04
坪内政義	「第22回医学情報サービス研究大会」報告	医学図書館	Vol.52, No.4,	389-395	2005.12
小林晴子 坪内政義	電子ジャーナルへのアクセスルート:愛知医科大学での調査	医学図書館	Vol.52, No.4,	369-374	2005.12
市川美智子	図書館パスファインダー作成報告とその可能性	医学図書館	Vol.53, No.1,	55-59	2006.03
阿部信一	研究支援 図書館利用者へのPubMed検索指導	病院図書館	Vol.26, No.3,	105-112	2007.01
阿部信一	MEDLINEでランダム化比較試験を検索する方法	オンライン検索	Vol.27, No.2,	117-118	2006.06

宮下牧子, 武山由紀, 阿部信一	和雑誌特集記事のエビデンス	医学図書館	Vol.53, No.2,	126-132	2006.06
阿部信一	ヨーロッパの医学関係Webデータベースの比較研究	オンライン検索	Vol.26, No.4,	185-186	2005.12
阿部信一, 松本直子	外国文献データベース 外国看護関係文献データベースの現状	看護と情報	Vol.13,	20-26	2006.03
磯野威, 阿部信一	図書館における医療・健康情報の提供 国立ライフサイエンス情報センター(仮称)の可能性 公共図書館と医学図書館のネットワーク	現代の図書館	Vol.43, No.4,	208-215	2005.12
野添篤毅, 阿部信一	健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究 健康危機管理情報データベース構築のためのデータ要素と情報の網羅的収集	健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究 平成16年度総括・分担研究報告書		7-17	2005
山下ユミ, 小宮美雪, 阿部信一	大学附属病院長の情報ニーズと情報習慣	医学図書館	Vol.52, No.1,	59-65	2005.03
松島雅人	EBM(Evidence-based Medicine)2.EBMを理解するために-バイアスについて-	臨床薬理	Vol.37, No.1,	9-14	2006.01
松島雅人	レビューでわかる!いまだき診療エビデンス 3 糖尿病の薬物治療	JIM	Vol.15, No.12,	1019-1023	2005.12
松島雅人	EBMがもたらしたもの、めざすもの EBMを実践できる医師を育てる環境は進んだか 医学部教育(私立大学)	EBMジャーナル	Vol.7, No.1,	188-192	2005.12
平紀子	薬学系図書館における取り組みについて	日本薬学会年会要旨集	Vol.127th, No.1,	168	2007.03
平紀子	日本薬学図書館協議会会員の専門性と継続教育について	薬学図書館	Vol.52, No.1,	29-34	2007.01
平紀子	新しい時代の医薬情報スペシャリスト(1)地域住民の専門情報ニーズに応える専門図書館-大学機能の拡大に向けて-	薬学図書館	Vol.51, No.1,	24-30	2006.01
萬美奈子, 木浪智佳子, 三国久美, 山本美佐子	わが国における小児肥満予防と生活習慣に関する研究の動向	北海道医療大学看護福祉学部紀要	No.13,	51-58	2006.12
酒井由紀子, 園原麻里	ILL統計データ分析からみた医学文献流通における私大医学図書館の役割	医学図書館	Vol.53, No.3,	233-238	2006.09
酒井由紀子	図書館における医療・健康情報の提供 北米の公共図書館における健康情報サービス	現代の図書館	Vol.43, No.4	224-238	2005.12
酒井由紀子	情報リテラシー・サービス 慶応義塾大学信濃町メディアセンターにおける情報リテラシー教育事例	医学図書館	Vol.52, No.1,	42-48	2005.03
諏訪部直子	データベースのひと工夫 PubMedを使いこなす-LinkOutとMyNCBIの紹介	ほすびたるらいぶらりあん	Vol.31, No.4,	255-259	2006.12
諏訪部直子	医学図書館による正規カリキュラムでの情報検索教育の経験	医学図書館	Vol.53, No.2,	143-148	2006.06
諏訪部直子	サブジェクトライブラリアンは必要か 医学情報専門家としての医学図書館員の新しい役割	情報の科学と技術	Vol.55, No.9,	369-374	2005.09
諏訪部直子	情報リテラシー・サービス 臨床医学論文執筆に必要な情報リテラシー	医学図書館	Vol.52, No.1,	53-58	2005.03

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

患者／家族のための良質な保健医療情報の

評価・統合・提供方法に関する調査研究

(H16-医療-一般-027)

平成16-18年度 総合研究報告書

2007年3月31日 発行

主任研究者 緒方 裕光

連絡先 国立保健医療科学院研究情報センター

〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6

TEL 048-458-6209 FAX 048-469-0326